



県農業大学校で農業機械メーカーと連携した 食味・収量センサコンバインの操作実技授業を実施します

県農業大学校では、「長野県農業を担う人材の育成支援協定」に基づき、(株)関東甲信クボタ中部事務所から専門家をお招きし、最新農業機械の操作技術等を学ぶ授業を行います。

日時及び場所

日時 令和8年10月1日(木) 午後1時10分～午後4時20分(雨天の場合は実演中止)

場所 県農業大学校(長野市松代町大室 3700)

受講者

県農業大学校 農業経営コース2年生 ほか

講師及び内容

(株)関東甲信クボタ中部事務所の皆様

○スマート農業機械(食味・収量センサ コンバイン)

についての学習(午後1時10分頃～)

○コンバイン作業の実演(午後2時50分頃～)



(使用する機体)

取材の申込

取材をご希望の方は、9月30日(水)までに
農業大学校 華野(電話:026-278-9439)まで
ご連絡ください。

※「食味・収量センサ コンバイン」

コンバインの内部に食味と収量のセンサーを
内蔵しており、刈取りしたほ場ごとの収穫情報
を自動記録できます。



「県農業を担う人材の育成支援協定」とは…

国内の大手農業機械メーカー4社と県農業大学校が、平成26年3月に締結した協定です。
地域農業振興の核となる人材育成に寄与するため、最新農業機械の操作技術やメンテナンス
の技能等を専門家から学ぶ講座の開設などの社会貢献活動を実施しています。

◆協定メーカー◆

ヤンマーアグリジャパン(株)関東甲信越支社、(株)関東甲信クボタ 中部事務所、
(株)トセキ関東信越甲信事務所、三菱農機販売(株)関東甲信支社長野支店